第 83 回全国健康保険協会香川支部評議会議事録

開催日時：令和 7 年 7 月 23 日（水）10：00～11：40

開催場所：全国健康保険協会香川支部 会議室

評 議 員：長山評議員（議長）、西尾評議員、芳我評議員、原田評議員、
藤井評議員、古屋評議員（副議長）、松木評議員、三好評議員
（欠席）藤岡評議員

（五十音順）

議事

○報告事項

1. 2024（令和 6）年度全国健康保険協会決算報告について
2. 2024（令和 6）年度支部事業報告について

○その他

- ・協会けんぽ香川支部の概要

○報告事項

報告事項 1. 2024（令和 6）年度全国健康保険協会決算報告について

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【学識経験者】

75 歳以上人口のピークは約 30 年先で後期高齢者医療への拠出金の増加が見込まれること、大規模な病院を中心に赤字の医療機関が増加していることを受けて診療報酬等引き上げが見込まれることなど不安要素も多い。また、風邪薬や湿布等の一部の OTC 類似薬について保険医療適用外とする議論が進められているものの、実現にいたるか不透明である。

令和 6 年度の香川支部の収支報告を受けて、来年度の保険料率が下がる見込みであることは喜ばしい。

報告事項 2. 2024（令和 6）年度支部事業報告について

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【被保険者代表】

資格確認書について、有効期限前に資格喪失した場合は回収を行うとのことだが、回収率は集計しないのか。

県外在住者への生活習慣病予防健診の受診勧奨 DM について、どのような内容の案内を送付しているのか。

健康宣言について、宣言をする前と後で健診受診率等を比較した検証データはあるか。もし、あればそのデータを示すことにより拡大につながるのではないか。

【事務局】

1点目の資格確認書の回収率については、マイナンバーカードの保険証利用を前提としているため、集計はしていない。しかし、現実としてマイナンバーカードの保険証利用登録をされていない方が一定数いることから、資格確認書の発行数も多くなるため、本部の通知を待って、適正に処理を行う。

2点目の県外在住者への健診受診勧奨 DM については、健診内容や健診費用といった全国共通の内容のほか、各都道府県で受診可能な健診機関一覧の二次元コードを掲載し、香川県外でも問題なく受診できることを周知する内容となっている。

3点目の健康宣言前後のデータについては、健康宣言事業所とその他の事業所の比較は行っているが、健康宣言前後のデータ分析はできていない。しかしながら、健康宣言事業所は元々健康意識が高い傾向にあるため、健診受診率等の数値の変化はあまり大きくないと思われる。

【事業主代表】

当社も健康宣言しているが、協会けんぽからいただいた健康宣言事業所の証などを社内に掲示したりすることで、従業員の健康意識の向上には確実に役立っていると感じる。

先の参院選において、給料の手取りを増やすということや、社会保険料のことについて議論されていたが、事業主として、被保険者の負担を下げるために事業所の負担が重くなるような方向に進まないか動向を注視している。

【事務局】

新聞等での報道では、風邪薬や湿布等の一部の OTC 類似薬を保険医療適用外とすることや、新たな地域医療構想により医療機関の病床数を削減すること等により医療費の支出を抑え、社会保険料を下げるという主張がなされている。

○その他

協会けんぽ香川支部の概要

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

(質問・ご意見なし)

以上

令和7年7月23日